

阿蘇山噴火

火砕流も発生



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年
10月20日
〈水曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

噴火する熊本県の阿蘇山＝20日午前11時43分（気象庁のライブカメラから）



気象庁は20日、熊本県の阿蘇山の中岳（1506メートル）の第1火口で午前11時43分に噴火が発生したと発表した。噴火に伴う火砕流が火口から1キロ以上に達した。気象庁は火山活動が高まっているとして、火口から約2キロの範囲では大きな噴石や火砕流に警戒を呼び掛けている。県や阿蘇市などによると、人的被害は確認されていない。

警戒レベル3に引き上げ

気象庁は同日、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げた。政府は首相官邸に情報連絡室を設置。磯崎仁彦官房副長官は「情報収集を進めている。対

応はこれから鋭意検討する。危機管理には万全を期している」と述べた。阿蘇山の噴火警戒レベルは13日に1（活火山であることに留意）から2に引き上げられ、14日午前4時43分ごろに小規模な噴火が発生。噴火は昨年6月15日以来だった。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040